

科目ナンバー	SEM-4-005-ky			科目名	卒業研究（村山）		
教員名	村山 賢哉			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	4
概要	課題演習で得た問題認識や、専門書から得られる知見を基に、「組織のマネジメント」や「ビジネス」に焦点を当てた研究を行う。それらの成果をまとめ、卒業論文を執筆する。						
到達目標	卒業論文の執筆を通じて、「情報収集能力」、「理解力」、「論理的思考力」、「文書作成力」、「情報発信力」といったビジネス・パーソンとして必須のスキルを習得していく。また、理論の習得で終わるのではなく、卒業論文には自分自身の新たな枠組み（新規性：フレームワーク・モデル・ビジネススキームなど）の構築をめざす。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力	○	協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	個別にビジネス書・専門書などの文献調査および企業調査を行う。その成果を毎時間発表し、ゼミ全体で討議していく。卒業論文作成にあたっては、個別に指導することが多くなる。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修	○	
受講条件 前提科目	課題演習Ⅰ・Ⅱの単位を取得していること。						
アセスメントポリシー及び評価方法	基本的に研究内容・研究への積極性で評価する。具体的には、中間発表の内容や討議への参加姿勢で30％、最終成果（卒業論文）70％の割合で評価する。卒業論文はA4レポート用紙20枚以上とする。またコースの指定する卒業論文提出日に卒業論文が提出されない場合、卒業研究の単位は出ないものとする。						
教材	選択したテーマによって異なるため、個別に提示する。						
参考図書	選択したテーマによって異なるため、個別に提示する。						
内容・スケジュール	3年次の課題演習を通じて自身で設定したテーマについて研究し、その進捗について毎時間プレゼンテーションを行う。その都度ゼミ内で議論し、修正していくという流れを繰り返す。したがって、自身の発表時以外も能動的に発言する姿勢が求められる。						

Number	SEM-4-005-ky	Subject	Graduation Thesis			
Name	村山 賢哉 (Murayama Kenya)	Year and Semester	Full-year for 2020	Credits	4	
Course outline	In this course, we will prepare a graduation thesis focusing on business and organization management.					